

A.D.500 難波津周辺



古代国家の国際港

A.D.650 前期難波宮



我が国最初期の都

A.D.726 後期難波宮



我が国の計画都市の嚆矢

A.D. 1615 大阪夏の陣



A.D.1945 大阪市内焦土



A.D.2002 法円坂団地



## -HISTORY-

### 古都・難波宮 (なにわのみや)

難波の地は、古くから難波津と呼ばれる国際港として栄えていた。そして大化の改新のはじまりと共に、遷都した孝徳天皇の命により前期難波宮が造営された。奈良時代には一度首都にもなり、平城京に遷都した天武天皇の副都として後期難波宮が造営された。

その後は、中世の豊臣秀吉の大阪城下町として栄え、第二次大戦前には軍事基地の中心をにない、交通の要地としての重要性は現代まで受け継がれている。そして時は流れ、この地は山根徳太郎博士を中心とする1959年からの40年にも及ぶ調査によりその姿を現代に表すようになった……

## -LOCATION-



01



04



05



06



02



03

大阪府中央区に位置するここ法円坂は、上町台地の最も高いところにあり、周辺には府の中心機関が数多く存在し、北側には阪神高速をはさんで大阪城公園が拡がり西には梅田、南は天王寺と交通の便が非常によい。

敷地一帯は、難波宮遺跡が一部復元され国の史跡に指定されているが、現在は公社法円坂団地が建ち並んでいるため、その多くは地中深く眠っている……

## -SITUATION-1-

1950年代、戦後間もなく、一般家庭にとって団地は憧れだった。  
1980年代、私達の子供時代は団地を巡るコミュニティで溢れていた。  
主婦達が集まっての井戸端会議・団地を駆け巡る子供達・お隣さんとのバーベキュー

そこには現代において薄れゆく”人と人とのつながり”があった……

様々な社会問題が飛び交う現代において  
忘れてはいけないものがそこにあったのではないだろうか？

## -SITUATION-2-

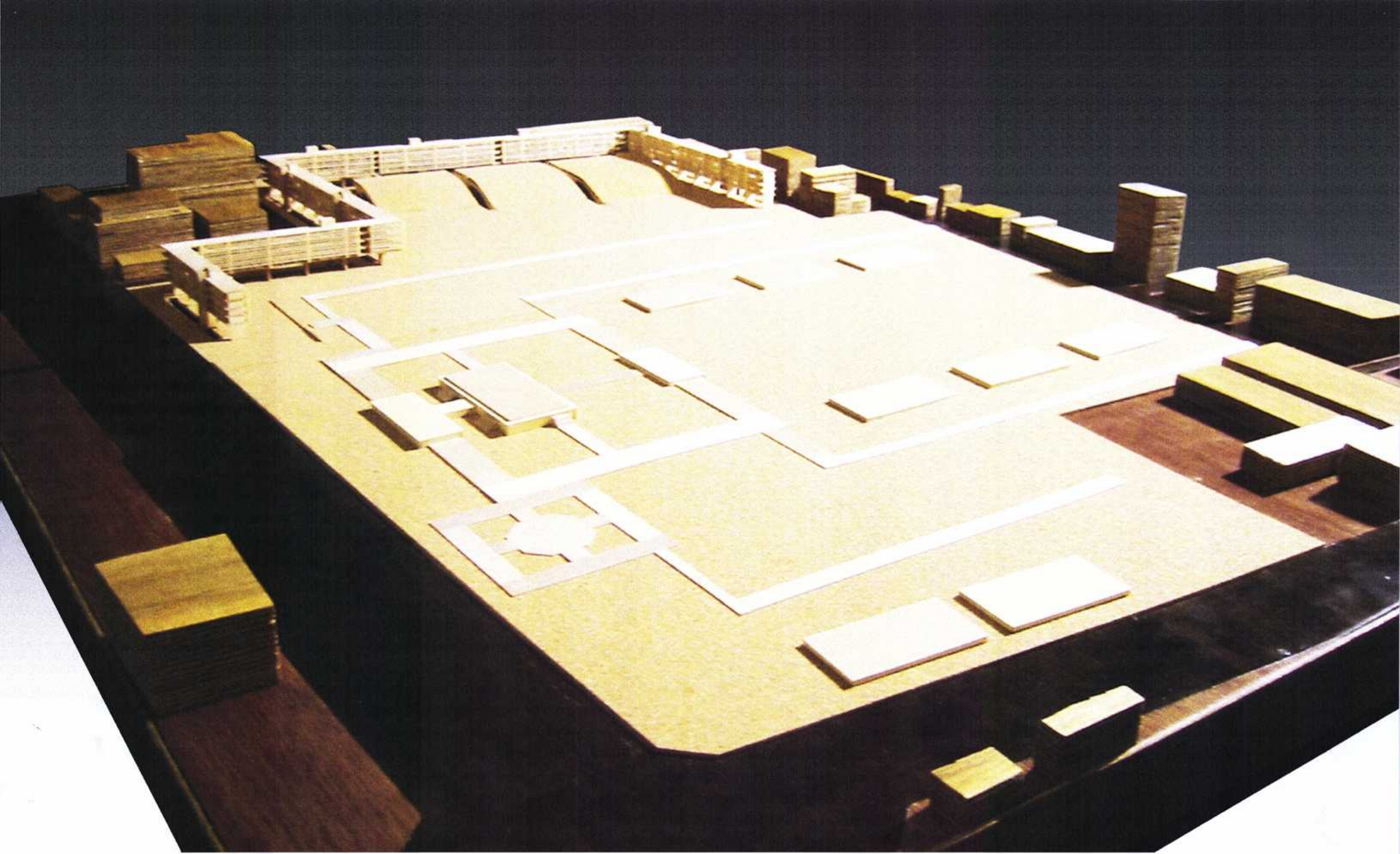
団地の下に深く埋もれた過去の記憶  
人々に忘れ去られ行く場所の記憶  
未来への道標となりうる現代の記憶

その昔栄華を誇ったその姿はもはやきえさろうとしていた……

歴史的価値の認められた史跡を  
どのように現代、そして未来へと受け継がれるのか？

いにしえの都は今、語りはじめる……





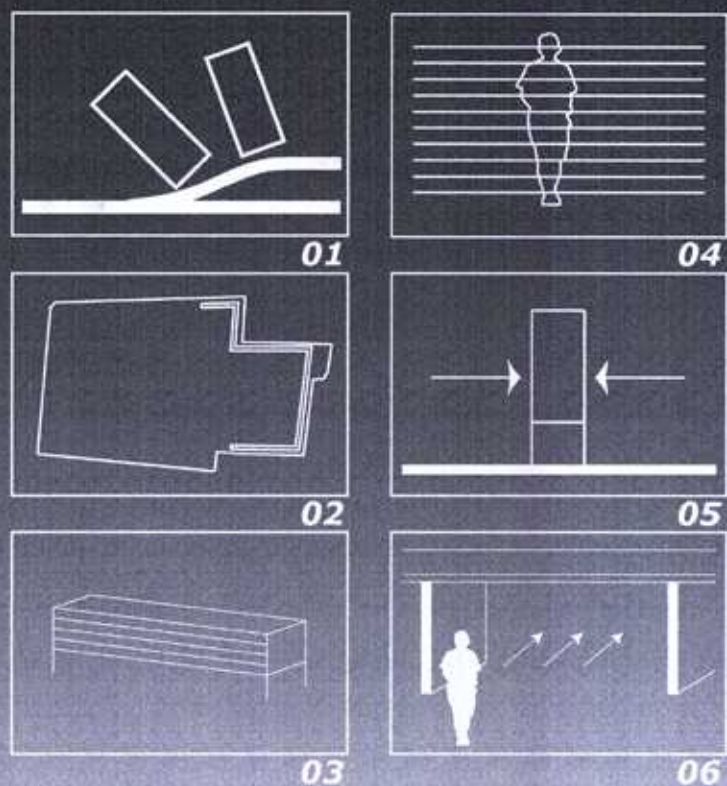
# **PEEL OFF**

**HISASHI KUBO**

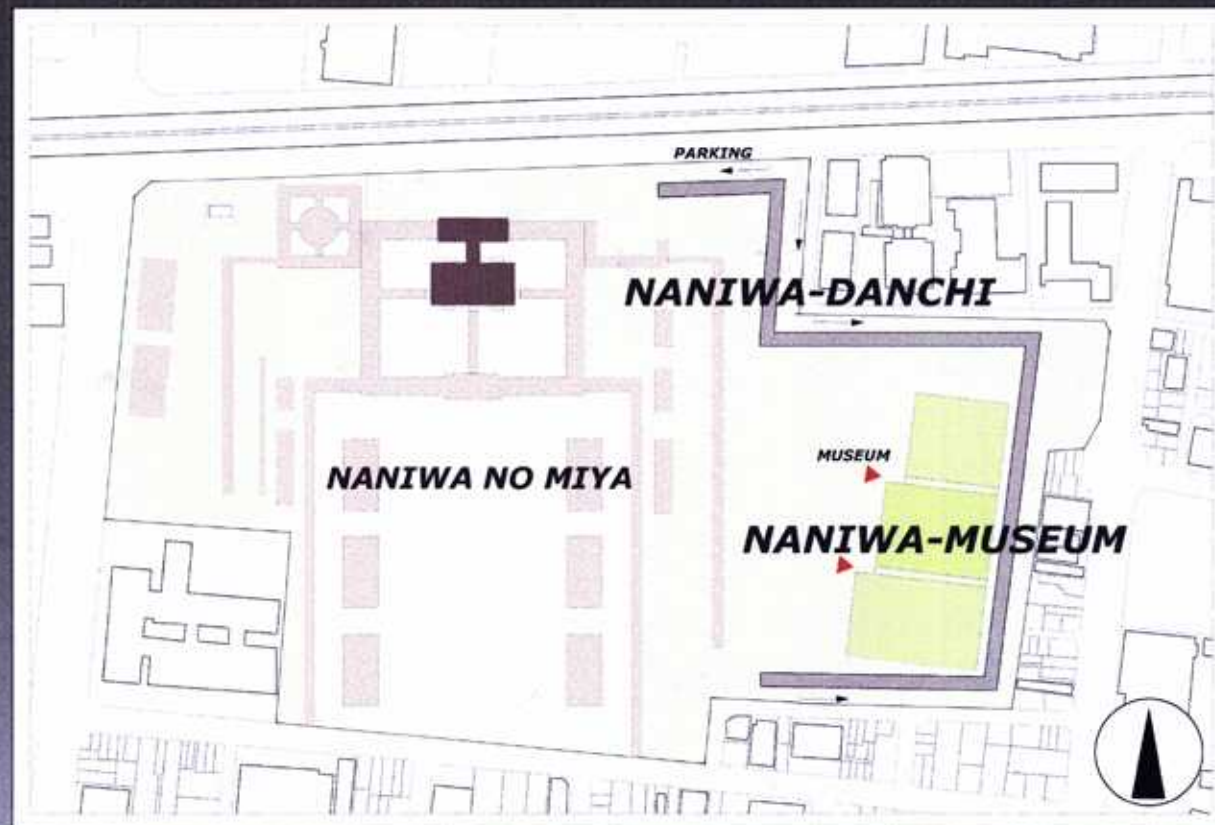


# -PROGRAM-1-

現状の問題を解決するため、独自の手法を用いて  
遺跡に対しての団地のあり方を示す6つのアイテムを提案する



- 01:PEEL OFF**  
現代の地層（団地）をめくることにより  
過去の記憶（難波宮）を蘇らせる
- 02:EDGE**  
遺跡をなるべく多く保存するために  
遺跡のエッジに沿って団地を建てていく
- 03:MODERN DESIGN**  
ファサードは遺跡に対して苦にならないように  
Modern Designとし、周りと調和させる
- 04:LOUVER**  
生活の様子が遺跡の見学の際に景観の  
邪魔にならないようにルーバーを用いる
- 05:THIN**  
ボリュームをなるべく押さえて薄くし  
遺跡を包み込むように佇ませる
- 06:PILOTTI**  
団地をピロティで持ち上げることにより  
圧迫感を和らげ、遺跡への視線を遮らない

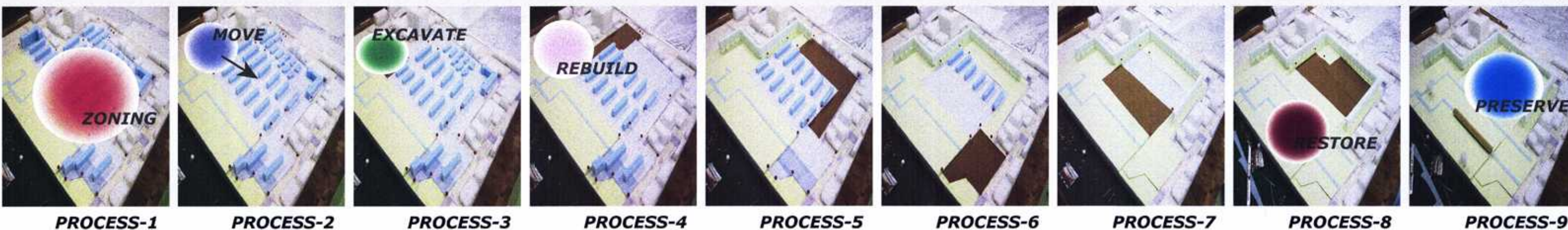


SITE PLAN 1:2000

# -PROGRAM-2-

遺跡発掘予定地であり、現在法円坂団地がある今回の敷地に対して  
ゾーニングを行い、遺跡を発掘し、保存しながら団地の建て替えを行う  
以下にその際使われる6つの手法、及び発掘プロセスの一例を示す

- step-1:ZONING** (ゾーニング)
- step-2:MOVE** (移転)
- step-3:EXCAVATE** (発掘)
- step-4:REBUILD** (建て替え)
- step-5:PRESERVE** (保存)
- step-6:RESTORE** (復元)



③ 注 これらの発掘プロセスはあくまで一例であり  
遺跡の発掘状況や規模などにより、柔軟に変化し対応するものとする



# -DANCHI REVIVAL-

“家族”というカタチ・・・

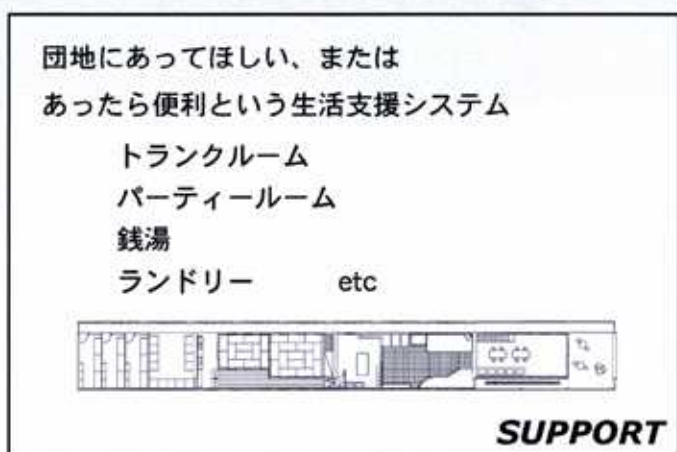
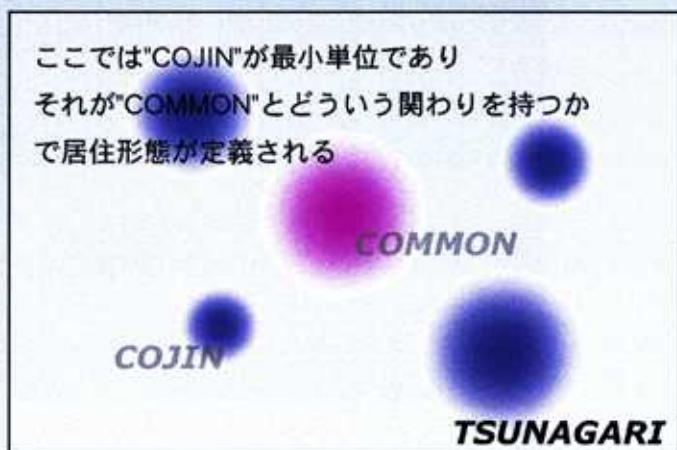
人がうまれてから現在まで、それは様々にカタチを変え  
しかし確実にその規模は小さく、そのつながりは希薄になってきた

現代生活においては個人の空間ばかりが際立ちその空間において  
日常生活のすべてがまかなわれるまでになった。結果、人と人の  
コミュニケーションは徐々に薄れ、個人化・孤人化が現代の象徴になった

そこで、団地のコミュニティからヒントをへて

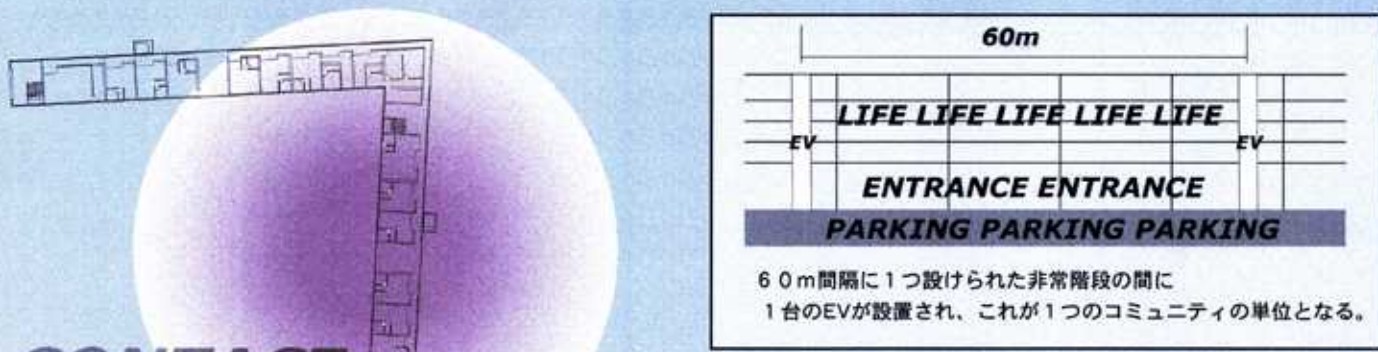
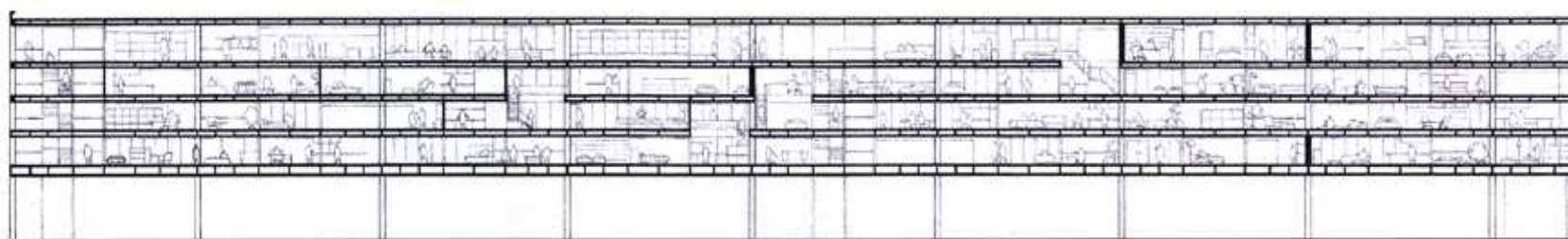
今回はDANCHIの新たなライフスタイル” NANIWA-STYLE”を提案する

## NANIWA-STYLE



## LIFE DIAGRAM

このDANCHIには、様々な人が住み、その空間も日々変化している  
まずはその生活の様子を御覧ください・・・



**CONTACT**

**TOGETHER**



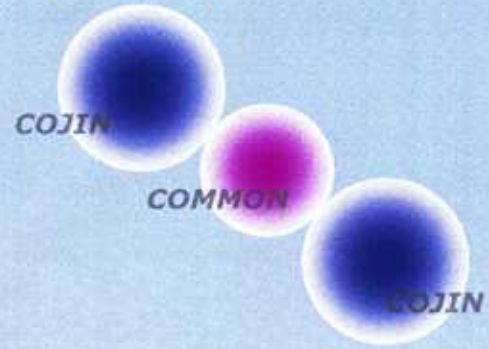
**ASSOCIATE**

**MAIN-FLOOR PLAN 1:600**

**LIFE CONCEPT**



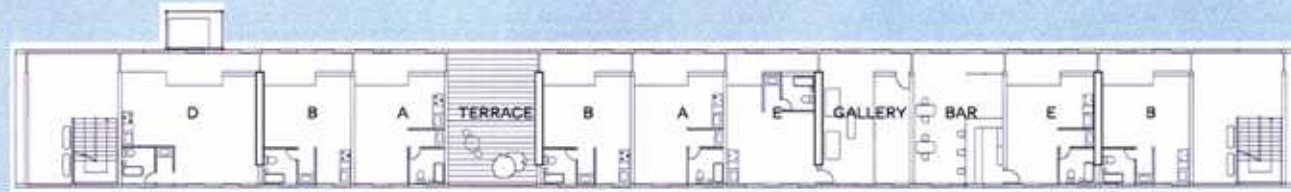
## CONTACT



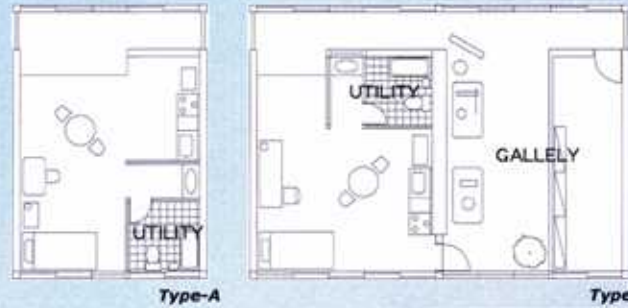
それぞれが別々の生活を行っているが生活以外で何かしらの接点をもつ



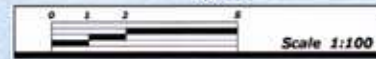
COJIN: 一人暮らし用 コアの配置が自由  
COMMON: カフェ、オフィス、教室など様々



CONTACT PLAN 1:200



INTERIOR RAYOUT 1:100



Type-A: 23才 男 サラリーマン  
この春大阪へ上京してきたばかりの新入社員  
会社帰りにCOMMONのBARで同期の友達と  
一杯やるのが日課。一人暮らしの淋しさもない。

SAMPLE



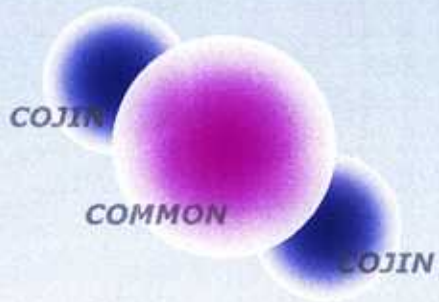
Type-B,C  
基本的にAとタイプは同じ  
コアの配置により、寝る・食べる  
くつろぐの重要度を変えられるのが特徴。  
単身者には最適なプラン。

Type-E: 52才 女 ギャラリーオーナー  
昔からこの団地に住んでいる老婆  
趣味の骨董品集めが乗じてギャラリーを  
始めた。おしゃべりスポットにもなっている。



Type-D  
単身者にはかなり大きめの部屋  
物持ちな人・家で仕事する人など  
団地の部屋は狭いというイメージを  
なくした。

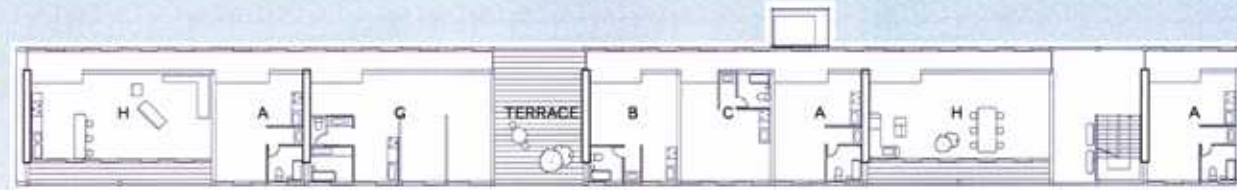
## ASSOCIATE



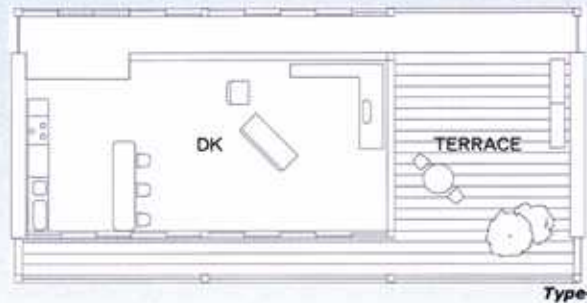
それぞれが独立した生活を行いながらも生活の一部を共有し、助け合う



COJIN: 1~2人暮らし用 気の合う人とシェア  
COMMON: 食事を共にしたり、くつろぎ空間



ASSOCIATE PLAN 1:200



INTERIOR RAYOUT 1:100



Type-F: 20才 男 3人 マンガ家志望  
同じ夢を志す仲間達でシェアしている  
現代版トキワ荘であり、お互いが助け合い  
時にはライバルして切磋琢磨。アトリエとして使用。

SAMPLE



Type-G  
寝食を共にするタイプ  
兄弟で住んだり、ルームメイトと  
住んだり様々な居住条件に  
適応できる。



INTERIOR PERSPECTIVE



Type-H  
最も標準的なシェアリビング  
食事を共にすることで  
コミュニケーションをとりあい  
充実した住生活を育む場。

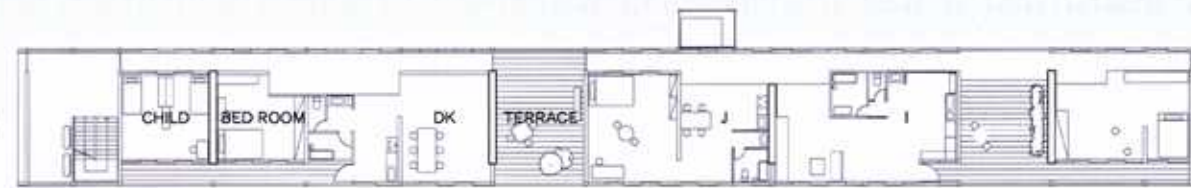
## TOGETHER



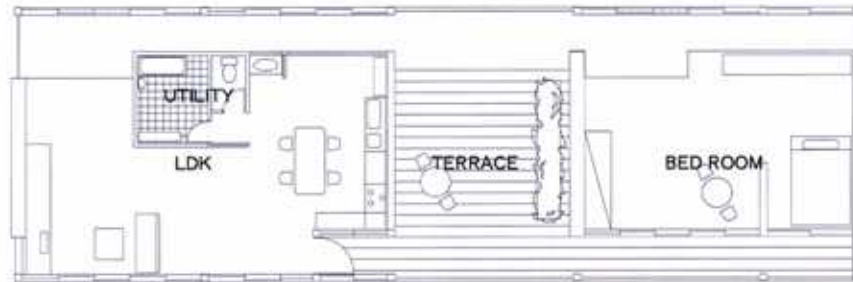
それぞれ寝室は別々になっていて、生活の主要な部分を共有し、共に生活している



COJIN: 2~4人暮らし用 寝るためだけのプライベート空間  
COMMON: 生活の主要な行為が行われる一家団楽スペース



TOGETHER PLAN 1:200

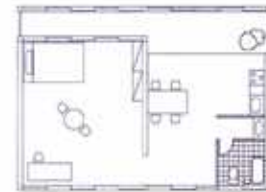


INTERIOR RAYOUT 1:100

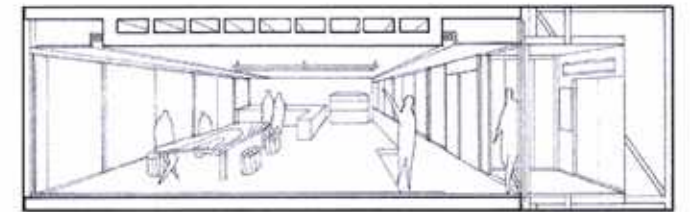


Type-I 28才 男 25才 女 夫婦  
最近引っ越してきたばかりの新婚夫婦  
休みの日は仲良くなった家族を交えて  
テラスでバーベキューを楽しむ。

SAMPLE



Type-J  
比較的小さなワンルームタイプ  
老夫婦、新婚夫婦など少人数で  
住むのに最適。



INTERIOR PERSPECTIVE



# -INTRO-

居住環境を悪くする片廊下をどうにかできないか...

建物のボリュームを押さえる手段はあるか...

直接部屋にアクセスできれば、片廊下はいらない  
片廊下が無ければ、ボリュームを押さえられる！

身近にあるドラフターからヒントを得て

その原理を応用して、X,Y方向同時に移動可能な

"FABLIC (織物) ELEVATOR"を提案する

# -PRINCIPLE-



drafter

シャフトが製図板に沿って水平移動

→ EVシャフトが団地に沿って水平移動

定規がシャフトを垂直移動

→ EVシャフト内でEVが垂直移動

これによりEVは斜め方向に移動し

最短距離で部屋にアクセスできるようになる

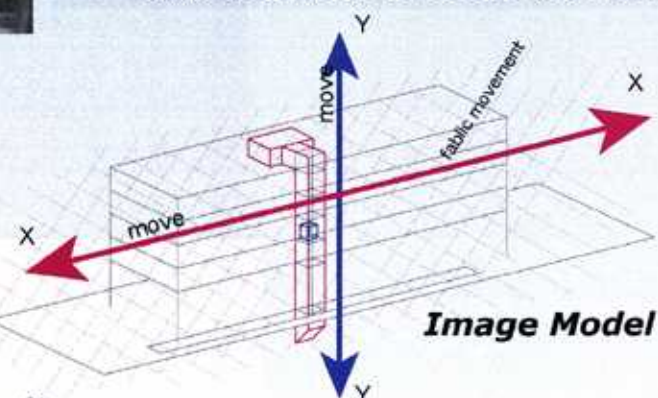
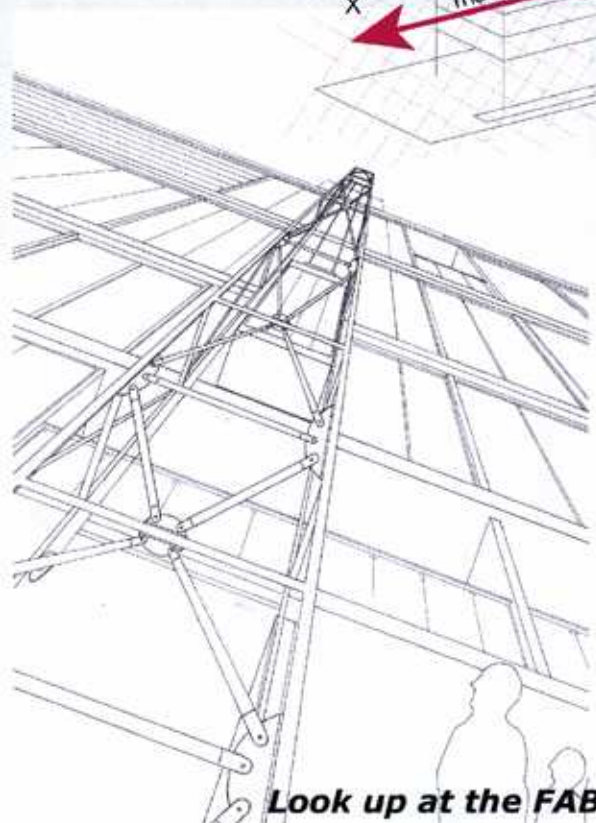


Image Model



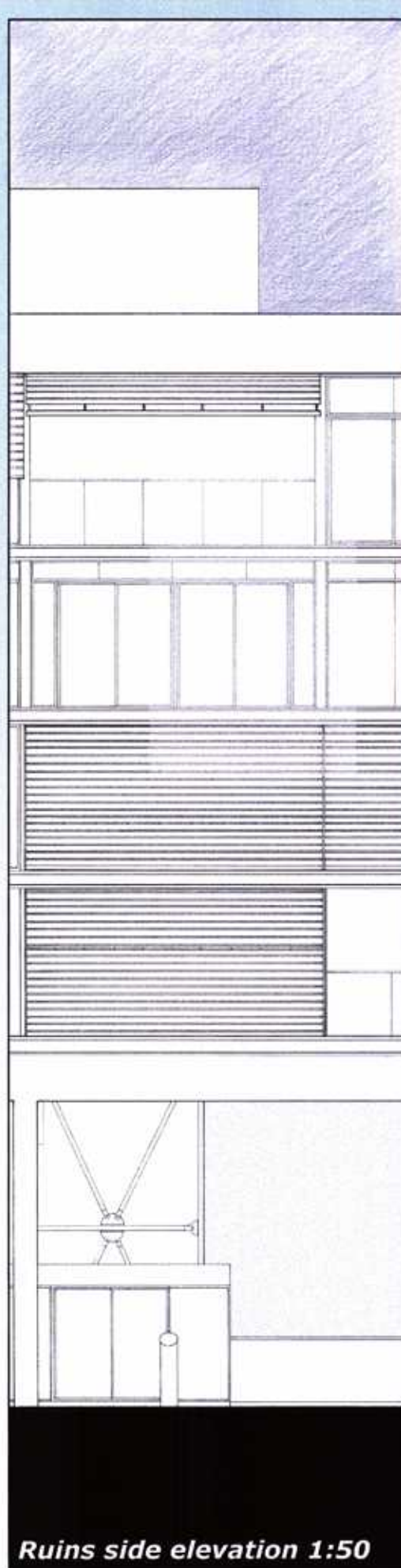
時がたつにつれて

絹が織り込まれていくように

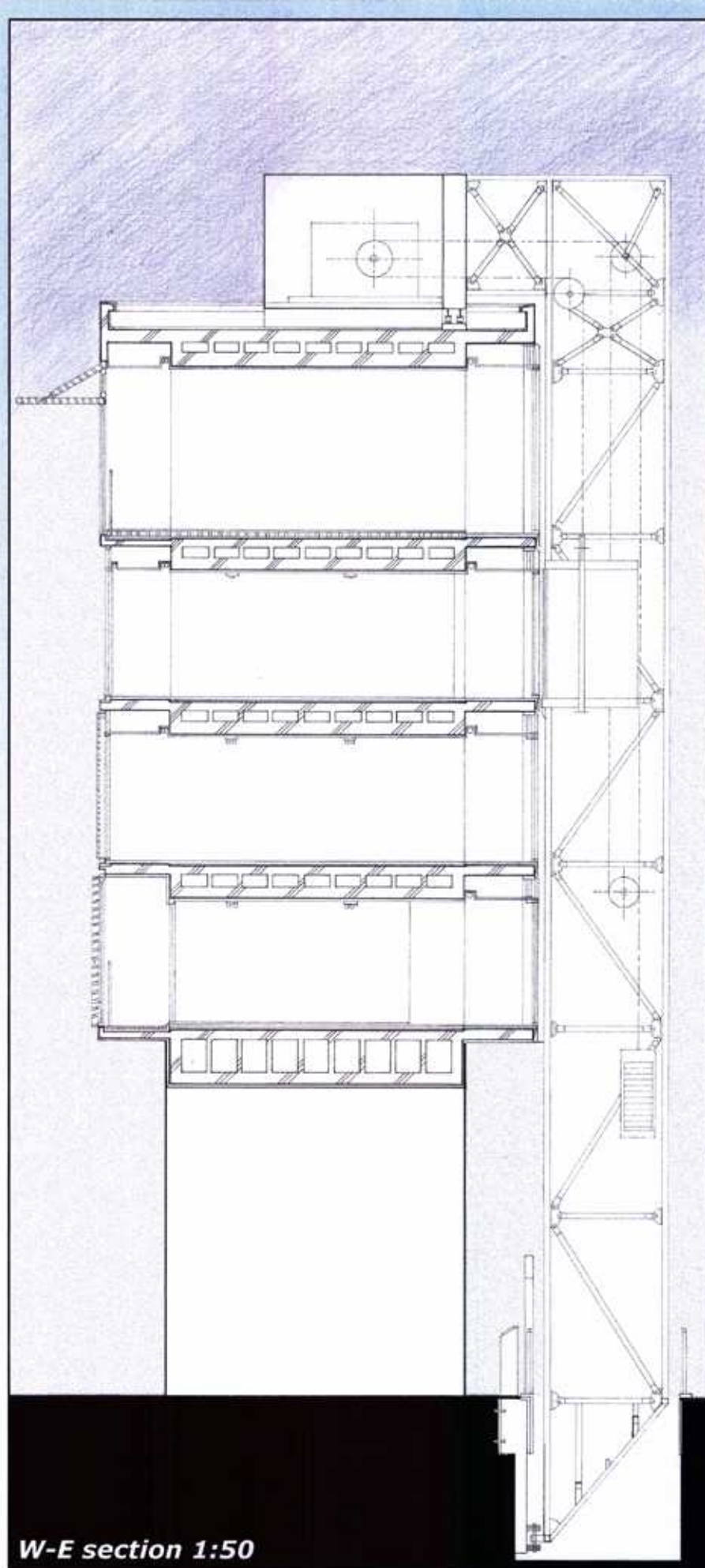
人と人のつながりも

縫いあわされていく.....

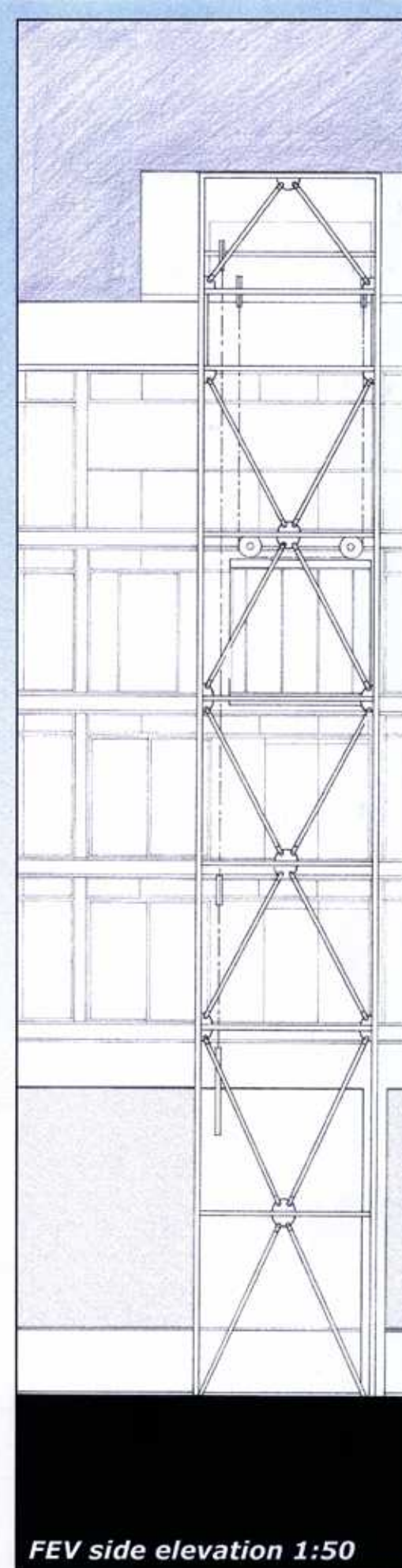
Look up at the FABLIC ELEVATOR



Ruins side elevation 1:50



W-E section 1:50

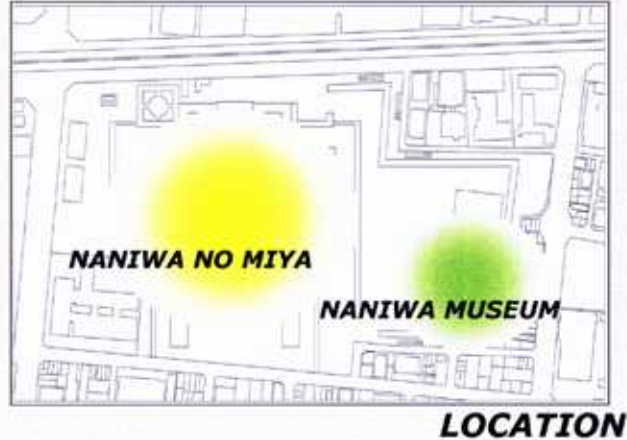


FEV side elevation 1:50



# -NANIWA MUSEUM-

NANIWA MUSEUMは、歴史の積み重ねによってできた現代の地層をめぐることで姿を表した、難波宮にまつわる遺構・遺物などを発掘状態のまま保存、展示するMUSEUMである。



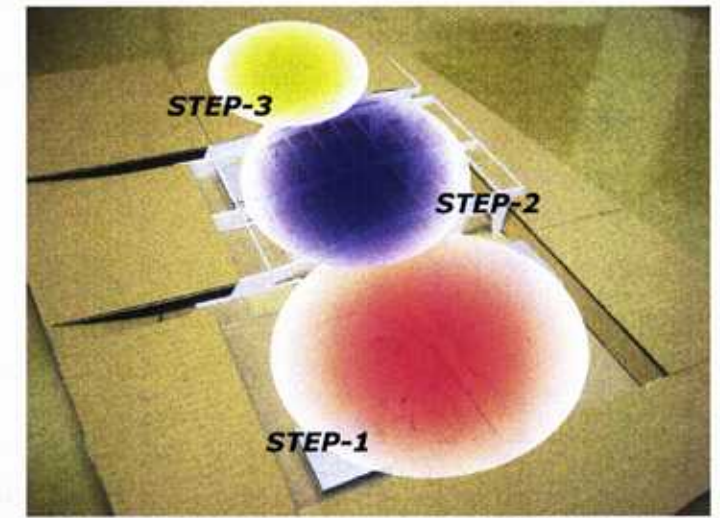
この地でうまれた歴史をたどり  
瞑想にふけることでその偉大さを知る・・・

## EXHIBITION

現在、難波宮史跡公園では、調査により明らかになった難波宮宮殿部の遺構のみが表示され、復元されているのは大極殿の基壇部分のみである。

本計画では以下のように  
MUSEUMの内部と外部で2種類の展示を行う。

- 内部：宮殿部周辺の建物の遺構や貴族や農民の生活の様子を示す遺物などを発掘状態のまま保存し、展示する。
- 外部：主に宮殿部を復元し、ヒューマンスケールで難波宮を体験できる

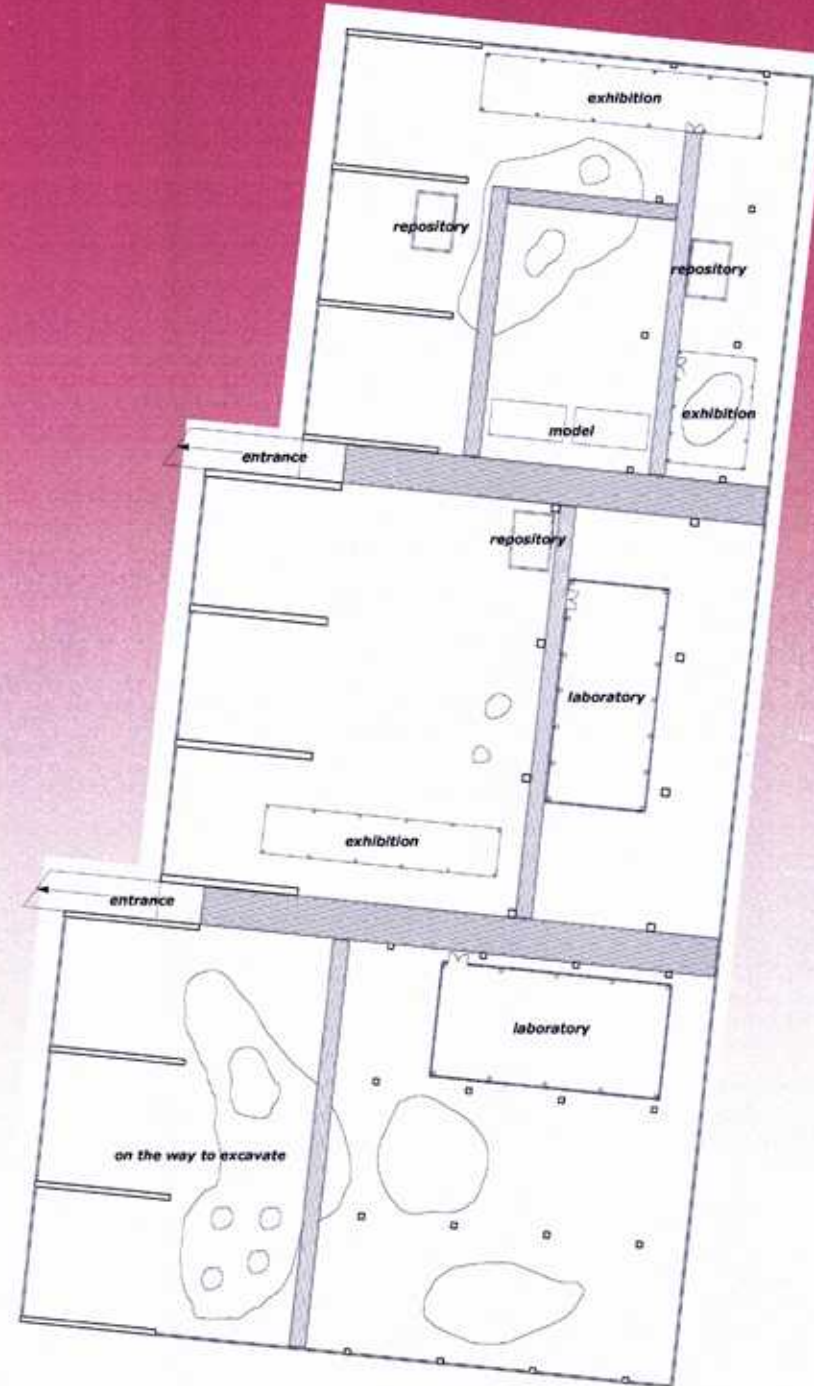


MUSEUM MODEL

## CONSTRUCTION PROCESS

このMUSEUMは段階的に、かつ柔軟に、発掘状況及びその規模などによりその形態は変化する。ここではその建設プロセスを示す。

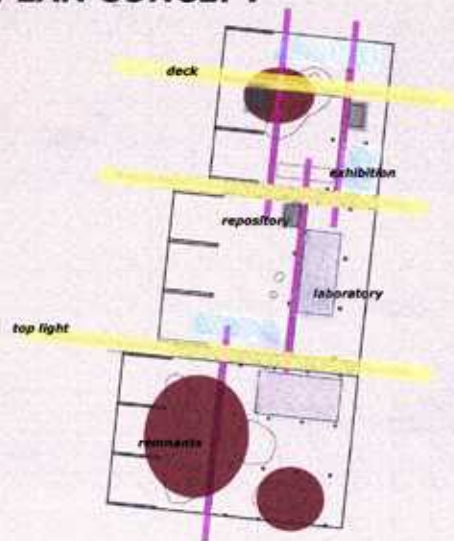
- STEP-1 EXCAVATE (発掘)**  
段階的に発掘調査を行い、難波宮及び周辺の全貌を明らかにする。
- STEP-2 PROTECT (保護)**  
出土した遺物、遺構などを発掘状態で保存するために構造体で保護する。
- STEP-3 COVER (包み込む)**  
薄い芝をはり、現代の地層で覆うことで、団地住民の庭になる。



BASEMENT FLOOR PLAN 1:400



## PLAN CONCEPT

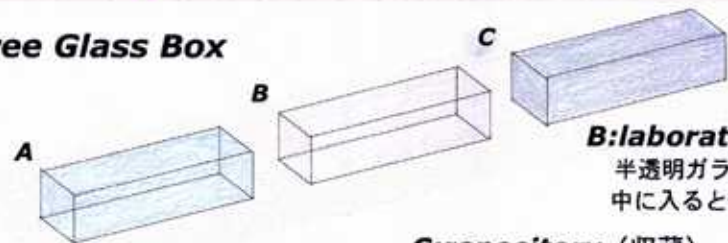


このMUSEUMの内部は  
エントランスからまっすぐ延びたデッキ  
それに垂直に走るデッキ、そして3種類のボックス  
による単純な幾何学で構成されている。

内部は遺跡の発掘状況により柔軟に変化する。

照明はエントランスから延びるトップライト  
遺構を照らすスタンドライトのみであり  
幻想的な雰囲気をかもし出す。

## Three Glass Box



### A:exhibition (展示)

透明ガラス 外からでも仲の様子が分かる  
主に当時の生活の様子を示す遺物などを展示。

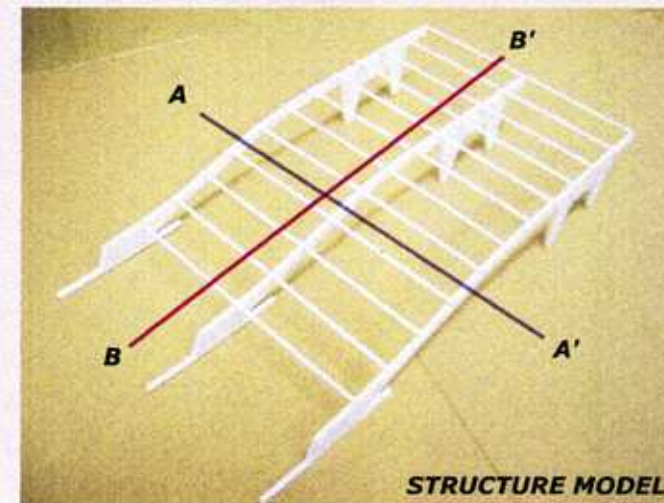
### B:laboratory (研究)

半透明ガラス 発掘された遺構、遺物などを随時研究  
中に入ると普段見れない研究の様子などが見学可。

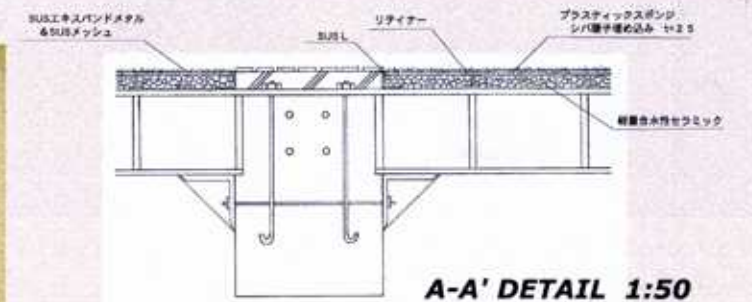
### C:repository (収蔵)

反射ガラス 外の環境では保存できないものを  
主に収蔵している。遺跡の邪魔にならないように  
その存在を消している。

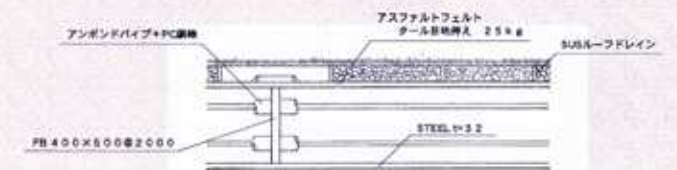
## MUSEUM STRUCTURE



STRUCTURE MODEL

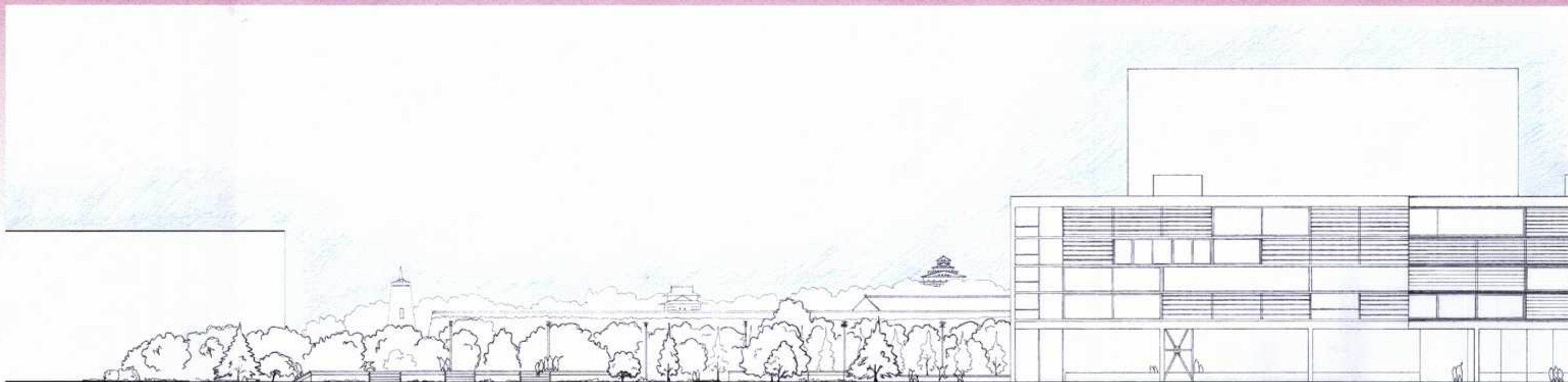


A-A' DETAIL 1:50



B-B' DETAIL 1:50

ただ屋根を支えるだけでなく、大空間の中になるべく柱を落とさないで  
遺跡を包み込むように、地層をめくるようなイメージでといった条件を  
満たしたのがこの構造である

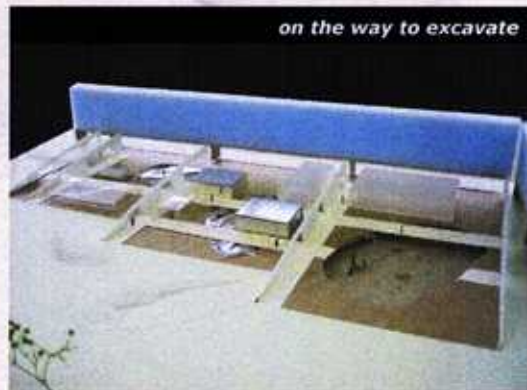


RUINS and DANCHI SECTION 1:200





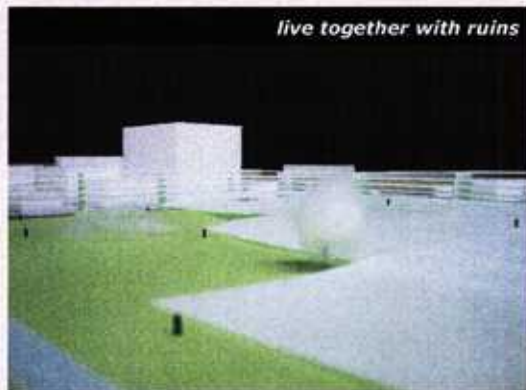
**MODEL PROCESS**



on the way to excavate



danchi-life



live together with ruins



bird's eye view



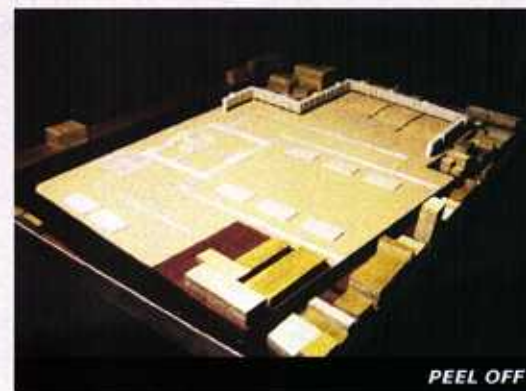
NANIWA-MUSEUM



view from free way

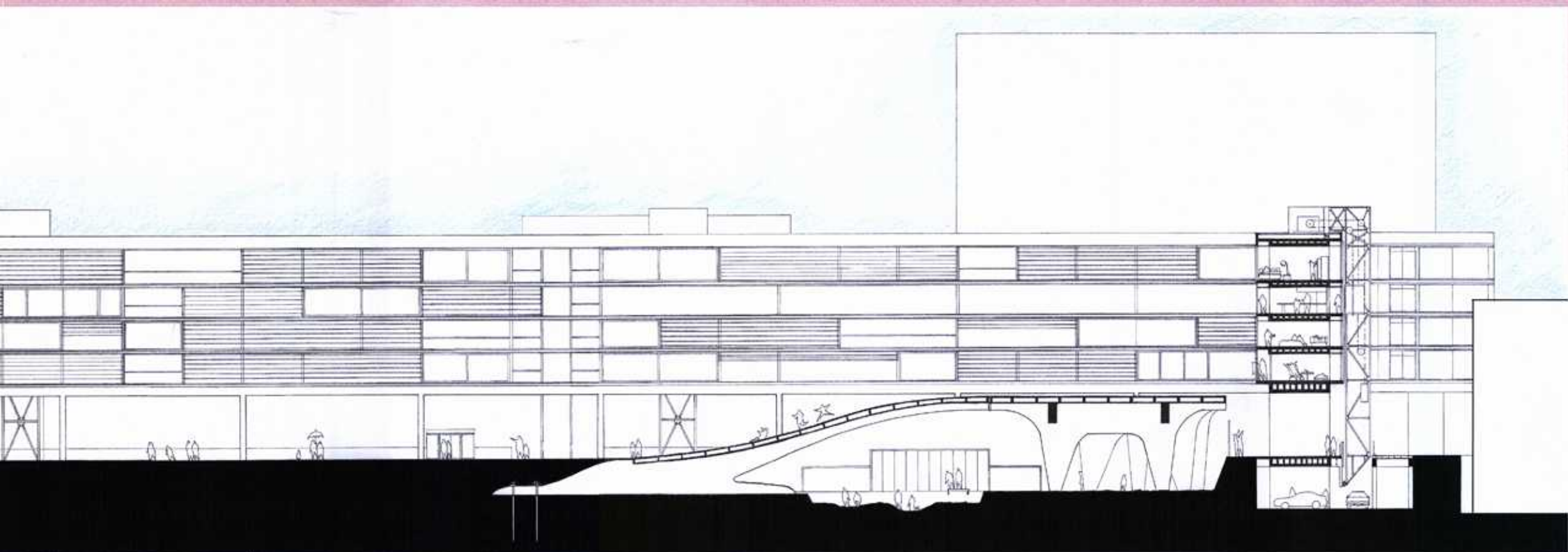


NANIWA-DANNCHI



PEEL OFF

過去、現在、そして未来・・・ DANCHIは  
 時を架けて、やさしく遺跡を包み込むように、難波の地にとけこんでゆく・・・



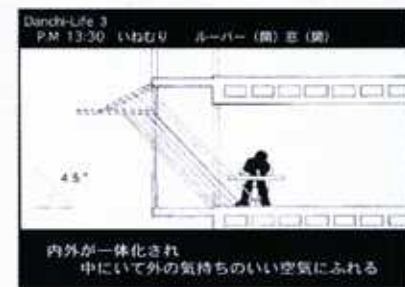
**DAYLY LIFE WITH LOUVER**



Danchi-Life 1  
 AM 8:00 起床 ルーバー (開) 窓 (開)  
 朝の日差しが  
 ストライプの影になってどこか心地いい



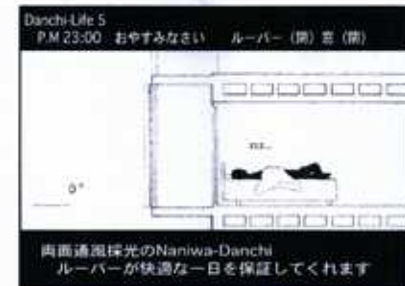
Danchi-Life 2  
 PM 12:30 昼食 ルーバー (開) 窓 (開)  
 昼の強い日差しを遮りながらも  
 心地よい風を運んでくれる



Danchi-Life 3  
 PM 13:30 いぬむり ルーバー (開) 窓 (開)  
 内外が一体化され  
 中において外の気持ちのいい空気にふれる



Danchi-Life 4  
 PM 16:00 雑草引く? ルーバー (開) 窓 (開)  
 日が沈んできてストライプの影はつらさず  
 作業しやすい快適な環境を演出してくれる



Danchi-Life 5  
 PM 23:00 おやすみなさい ルーバー (開) 窓 (閉)  
 両面通風採光のNaniwa-Danchi  
 ルーバーが快適な一日を保障してくれます